

のうせきずいえきげんしょうしょう

脳脊髄液減少症について

岡山県教育庁保健体育課

平成 28 年版

～保護者向け資料～

脳脊髄液減少症（のうせきずいえきげんしょうしょう）とは

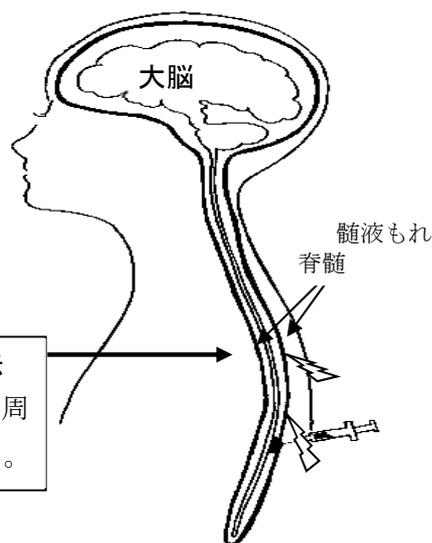
交通事故やスポーツ外傷等の身体への強い衝撃などにより、脳脊髄液がもれ出すことによって、頭痛、首の痛み、めまい、体のだるさ、吐き気、不眠、記憶力の低下などの様々な症状を引き起こす疾患とされています。

※現在、医学の専門家や研究者の間で診断方法や治療の研究が行われている段階です。

※治療方法が、確立されているわけではありません。

※治療法の1つとされているブラッドパッチ療法は平成 28 年 4 月から健康保険適用となっています。

ブラッドパッチ療法
髄液が漏れている周辺に血液を注入する。



★ ブラッドパッチ療法を保険適用で受けることができる県内の医療機関は、平成 28 年 4 月 1 日現在、『光生病院』、『岡山旭東病院』、『川崎医科大学付属病院』となります。

★子どもさんが、交通事故やスポーツでの事故のあと、頭痛やめまい、吐き気などの長引く症状で「脳脊髄液減少症」が疑われるなどお困りがありましたら、まずは、かかりつけ医等の医療機関に「脳脊髄液減少症」について御相談いただき、必要に応じて専門の医療機関を受診しましょう。

* 岡山県のホームページでも紹介しています。

岡山県 脳脊髄液減少症

検索

クリック

※受診の際には、事前に医療機関にお問い合わせください。

※治療法については、担当医師とよく御相談ください。